

送信枚数 1 枚

< 気になるよそ様の数値 - Y 評点の平均値 - >

Y 評点の各県ごとの平均値はかなり格差があるようです。国土交通省の竹歳誠大臣官房審議官は、3月7日に開かれた全国中小企業建設業協会の評議員会で講演し、「Y 評点の平均値が、最上位と最下位で 200 点以上差があることに触れ、『経審の水増しを訴える投書も届いており、行政としてしっかり見直しをかける必要がある』と述べ、全国規模で実態調査を行う可能性があることを示唆した」(月刊建設工業新聞 13.3.8 号) そうです。

平成 12 年 1 月 30 日現在の「経審」データ(全国 195,842 社)を基に各県ごとの Y 点の平均値を算出したのが右表です。Y 点の平均値の最高点は、沖縄県で、853.86 点です。最低点は、千葉県で、589.33 点です。Y 点の平均点は、全国では、およそ 700 点ですが、各県ごとに比較すると、このように、最高と最低では、264.53 点もの差が生じています。国土交通省は、このことに重大な関心を寄せているようです。

そこで、Y 評点の各指標ごとにどのようになっているかグラフにしてみました。今回は、上位三県の数値について、Wisdom2000 経審点数アップシステムを使って、各指標の点数を算出しました。このシステムでは、各指標の全国平均値が 50 点、各指標の最高値

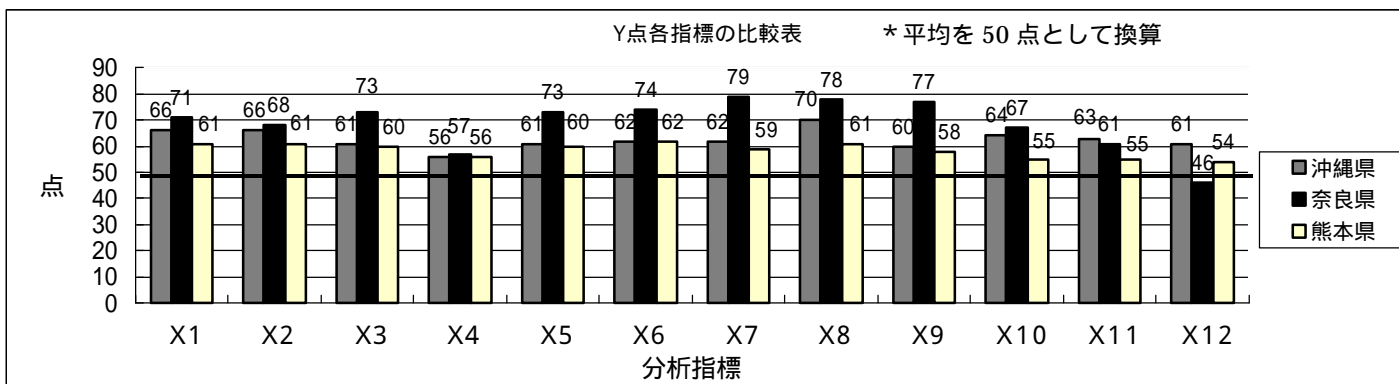
が 100 点、最低値が 0 点になっています。まず、全国トップの沖縄県では、各指標ごとに全国平均を下回る数値はなく、どの数値も平均してよくなっています。第二位の奈良県では、収益性の比率((X1),(X2)(X3))、や安定性の比率((X7),(X8)(X9))がよく、第一位の沖縄県を上回っています。しかし、健全性の比率((X10),(X11)(X12))はよくありません。特に、付加価値対固定資産比率(X12)は全国平均を下回っています。必要運転資金月商倍率(X4)はどの県も平均より少しよい程度です。

地域性の強い建設業においては、他県の数値はあまり気にならないかも知れませんが、国土交通省の今後の動きには注目したいものです。

WISENET 編集部 松村 清 (税理士)



Y 点 順位	都道府県	Y 点 平均値
1	沖縄県	853.86
2	奈良県	805.78
3	熊本県	784.94
4	高知県	769.80
5	徳島県	764.72
6	鳥取県	759.60
7	京都府	756.56
8	北海道	756.04
9	宮崎県	739.87
10	佐賀県	734.05
11	和歌山県	725.36
12	鹿児島	716.08
13	岡山県	708.25
14	岩手県	701.24
15	島根県	701.02
16	福岡県	699.41
17	福井県	695.07
18	香川県	685.26
19	三重県	685.05
20	石川県	682.64
21	大阪府	681.27
22	秋田県	678.15
23	大分県	675.09
24	青森県	667.01
25	山形県	666.69
26	富山県	664.23
27	長野県	661.79
28	滋賀県	659.87
29	愛媛県	657.03
30	兵庫県	654.61
31	新潟県	654.41
32	岐阜県	649.43
33	宮城県	649.26
34	長崎県	647.37
35	福島県	641.22
36	山梨県	639.90
37	山口県	637.07
38	広島県	635.58
39	栃木県	635.28
40	埼玉県	627.99
41	愛知県	620.67
42	東京都	619.22
43	群馬県	609.83
44	茨城県	603.69
45	静岡県	591.92
46	神奈川県	590.36
47	千葉県	589.33



「Wisdom2001 建設業許可申請書類作成システム」近日発売予定。
 一般会計用財務諸表を建設業用に自動変換。もちろん税込 税抜処理も自動。

WebFAXNET メール送信ご希望の場合は右欄にメールアドレスをご記入ください()

Wisdom デモンストレーション希望(無償)
 資料請求(無償)
 * すでにご注文をいただいているお客様にもこの案内は届いています。
 今後「Wise FAXNET」送信不要

資料請求等は必要事項をご記入の上、
 FAXにて当社までご返送下さい。

FAX.0269-65-4745

下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
ご住所 〒	
TEL	FAX